

Heavy

ALASKA S3

暖かなライニングを施したレザーセーフティブーツ

アラスカは、優れたグリップ力、暖かいライニング、防寒性を備えた多目的なレザーセーフティブーツです。静電気防止と多くの快適性を提供するこのブーツは、耐水性素材で作られています。

アッパー	プルアップアクションレザー
裏地	テディ
インソール	テディ
ミッドソール	スチール
ランニングソール	バスフPU/バスフPU
トゥーキャップ	スチール
カテゴリー	S3 / SR, SC, LG, FO, CI
サイズ範囲	EU 38-47 / UK 5.0-12.0 / US 5.5-13.0 JPN 24-31 / KOR 250-310
サンプル重量	0.810 kg
規範	ASTM F2413:2018 EN ISO 20345:2022+A1:2024



BRN

CO_2 15.78 kg

S3
S3安全靴は、湿度が高く、油や炭化水素が存在する環境での作業に適しています。また、靴底の穿孔リスクや足の潰れから保護します。

SRC滑り抵抗
耐滑靴底は、安全靴や作業靴の最も重要な機能の1つです。SRCの耐滑靴底は、SRAとSRBの両方の耐滑試験に合格しており、鉄とセラミックの両方の表面で試験されています。

コールドインシュレーション（CI）
足を暖かく保つ保冷材（CI）安全靴。寒い環境で履くものです。

暖かい裏地
寒い環境でも足を暖かく、ドライに保ちます。

ウォーターレジスタンスアッパー（WRU）
永久に高いレベルにさらされなければ、水の浸透を防ぐことができる。

帯電防止
帯電防止靴は、静電気の蓄積を防ぎ、効果的に放電させることができます。100 KiloOhmから1 GigaOhmまでの体積抵抗値

産業分野:
オートモーティブ, ケミカル, 建設, 鉱業, 石油・ガス, 産業分野

エンバイロメント:
低温環境, 泥臭い環境, 雪と氷, 凹凸のある表面, 湿潤環境

メンテナンス方法:
靴を長持ちさせるために、定期的にクリーニングし、適切な製品で保護することをお勧めします。靴を暖房器具の上や熱源の近くで乾かさないでください。

試験結果:

	商品説明	EN ISO 20345	結果	測定単位
アッパー	**プルアップアクションレザー**			
	上段：水蒸気透過性	≥ 0.8	1.5	mg/㎠ /h
	上段：水蒸気係数	≥ 15	16.8	mg/㎠
裏地	**テディ**			
	裏地：水蒸気透過性	≥ 2	47.5	mg/㎠ /h
	裏地：水蒸気係数	≥ 20	379.8	mg/㎠
インソール	**テディ**			
	フットベッド：耐摩耗性（ドライ / ウェット）（サイクル）	25600/12800	25600/12800	しゅうき
ランニングソール	**バスフPU/バスフPU**			
	アウトソールの耐摩耗性（ボリュームロス）	≤ 150	33	㎣
	基本的な滑り抵抗 - セラミック＋NaLS - 前方ヒールスリップ	≥ 0.31	0.44	フリクション
	基本スリップ抵抗 - セラミック＋NaLS - 後方前進スリップ	≥ 0.36	0.41	フリクション
	SR 耐滑性 - セラミック＋グリセリン - 前方ヒールスリップ	≥ 0.19	0.30	フリクション
	SRスリップ抵抗 - セラミック＋グリセリン - 後方前進スリップ	≥ 0.22	0.31	フリクション
	帯電防止値	0.1 - 1000	40.1	メガオーム
	ESD値	0.1 - 100	N/A	メガオーム
	ヒールエネルギー吸収	≥ 20	30	J
トゥーキャップ	**スチール**			
	耐衝撃セーフティノーズ（衝撃後クリアランス100J）	N/A	N/A	mm
	耐圧性のある安全ノーズ（10kNの圧縮後のたわみ）	N/A	N/A	mm
	耐衝撃セーフティノーズ（衝撃後クリアランス200J）	≥ 14	18.5	mm
	耐圧縮セーフティノーズ（圧縮後クリアランス15kN）	≥ 14	21.0	mm

サンプル数: 42

当社の靴は常に進化しており、上記の技術データは変更される可能性があります。すべての製品名とブランド名Safety Jogger は登録されており、当社の書面による同意なしに、いかなる形式でも使用または複製することはできません。

エコロジカル・フットプリント:

	商品説明	結果	測定単位
CO#排出量			
	素材	13.51	kg
	包装	0.12	kg
	生産	1.90	kg
	輸送	0.26	kg
		15.78 kg CO2 / ペア	

	商品説明	結果
リサイクル素材の割合		
	Product	3%
	包装	99%

CO2の算出:
数値は小数点以下2桁で四捨五入されます。
これらの分析は、コルティナ・グループ内で開発された独自の環境計算ツールを使用して行われます。CO2値は計算時点でのものであり、変更される可能性があります。